



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：日・イラク関係

(11月27日付現地各紙)

1. 11月27日、マーリキー首相は小川駐イラク日本大使の表敬を受けた。同表敬の席上、首相は、イラク政府としてあらゆる分野での日本との関係発展を強く望んでいると述べるとともに前政権崩壊後のイラク支援にかかわる日本の立場を高く評価すると述べた。
2. マーリキー首相は、また以下のとおり述べた。
 - (1) 自衛隊のイラク撤退は両国関係の終了ではなく、さらなる関係の拡大である。特に陸上自衛隊はサマーワでの活動を通じて同地に素晴らしい痕跡を残した。
 - (2) 我々は、日本の経済、経験及び技術に対して信頼しているとともに、イラク復興債権プロジェクトへの日本及び日本人投資家の参加を強く期待している。
 - (3) バグダッド国際空港での石油企業による博覧会（石油・ガス・エキスポ）が開催される予定であるところ、日本企業の参加を希望している。
 - (4) イラクの再興に参画する日本企業のためのフォーラム（第2回イラク・ビジネス・フォーラム）を開催する考えを歓迎する。同フォーラムをバグダッドで開催することを呼びかけるとともに、イラク政府として同フォーラム開催のためのあらゆる必要な措置を講じることを約束する。
3. 小川大使発言
日本企業のイラクへの進出及びイラク復興債権プロジェクトへの参画を支援していきたい。イラクには電力及び石油分野をはじめとして多くのビジネス及び投資機会が存在している。日本は科学及び文化の分野でもイラクとの関係を発展させていくことを強く望んでいる。